

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-01-05
事務事業名	交通安全施設維持管理事業		根拠法令・要綱等 道路法
事業開始年度	平成17年度～		周合せ先 担当課(室) 都市整備課
大項目	基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	職・氏名 土木係長・梶藤 勲
中項目	基本施策	安全で安心して暮らせるまちづくり	電話 0869-64-1835
小項目	施策	交通安全施設の整備	

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	市道上の交通安全施設。
目的 (何のために)	市道における腐食、破損した交通安全施設の補修を行い事故防止を図る。
行政活動 (どのような方法で)	市道上にある腐食、破損したガードレール等の防護柵、カーブミラーの補修を行う。見えにくくなった道路標識、道路標識の補修を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	修繕の必要な交通安全施設の不備が原因で起こる事故の防止。

事業の実績					
活動実績	実施項目				
	維持修繕箇所(需用費)	箇所	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	事故修繕箇所	箇所	0	0	0
事業費	直接事業費	千円	1,115	1,103	975
	人件費	千円	3,466	4,385	877
	事業費計		4,581	5,488	1,852
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担債	千円			
	一般財源		4,581	5,488	1,852
必要人員	人		0.44	0.59	0.15
結果指標①	修繕完了箇所	説明	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	結果指標量	箇所	11	13	6
	対前年比	%	-	118.2%	46.2%
	活動コスト	円	4,581,000	5,488,000	1,852,000
	単位当たりコスト	円	416,454	422,153	308,666
結果指標②	結果指標量	説明	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	0件	式又は説明	修繕の必要な交通安全施設の不備が原因で起こる事故件数
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	0	0	0
対前年比	-		
到達目標値	0件	到達目標年度	平成28年度



事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。



事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。



事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> A 課題認識
	行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	市道における安全施設の管理であり、市が関与するのは妥当であるが、他市では民間委託している場合も見受けられる。本市の場合は、事業費も小さく、引き受け手を探すのが困難な状況である。
	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	
有効性の評価	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	現場確認の際、直営で出来る簡単なことは極力作業を完了させコストの縮減を図っている。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> C 課題認識
	市民参画度		NPO、ボランティア団体等による安全施設修繕の簡易な作業への参画を考える必要がある。

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量①: 6	結果指標量②: 0件

総合評価	
施設は毎年増えており、施設の修繕も一挙には行えないので、毎年行っていく必要がある。NPO、ボランティア団体等の参画を考えていく必要がある。	評価区分<A~E> B

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	交通安全施設の点検。	H20~	交通安全施設の腐食・破損箇所を早期発見できる。